

びんまる子育てコラム **連載** 第1回

「教えて喜田先生！」子育てに悩むパパ＆ママを応援！



学校法人喜田学園 通信制課程
東林館高等学校

- ◎3年で高校卒業を目指すコース
 - ◎受験対応個別指導コース
 - ◎中学生コース・社会人コース
- 目的に合わせた幅広い学びを提供しています

福山市光南町1-1-35
TEL.084-923-4543
FAX.084-926-9607



●福山駅南口から徒歩で約10分

東林館 福山

検索

「情」や「想い」の代弁者

「お母さんは」「こんなに頑張ってるのに、何で言つことを聞いてくれないの!!」
こう親から言われたとき、お子さんはどんな気持ちでしようか? 皆さんも子どもの頃、同じ様な経験がありませんか?

親は子育ての中で、お子さんに対する想い、「情」や「想い」がありますよね。それをどうやってお子さんに伝えていくのがより効果的でしょう?

「毎日」こうやってきれいな服を着れる人も、おいしいご飯が食べれる人も、全部お母さんが一生懸命家事をしてくれてるお蔭よな。お母さん仕事も家事も一生懸命頑張ってるな。感謝せないけんなと、お母さんの想いを、お父さんが子どもに代弁してあげる。

「こうやって私達が毎日晩御飯食べて居る時でも、お父さん頑張って仕事しうるね。私が安心して暮らせるのは頑張ってるお父さんのお蔭じゃね」と、お母さんがお父さんの想いを子どもに代弁してあげる。

「情」や「想い」の代弁者

お子さんとのコミュニケーションにおいてどんな違いがあるのでしょうか? 自身で自分の想いを子どもに語る以上に、より子どもとの心に響きやすいですよね。子どももその方が言葉を受け取りやすいでしょう。

母からの学び

私の父は教育者として夜中でも子ども達、保護者の為にと奔走していました。そのため全く家には帰って来ませんでした。母はずっと教師をしていて母自身も多忙な毎日を過ごしていましたが、父の愚痴を私の前で一切言わず、「お父さんが頑張って仕事してくれているお蔭で、安心して暮らせるよね」と私に聞かせながら育ててくれました。そのお蔭で私は父のことを尊敬できていると感じます。

お父さん・お母さん・おじいちゃん・おばあちゃん・学校の先生・地域の方々。「色んな人」が「色んな人の想い」を、その人の代わりに子ども達に語つてあげる。そうやって「情」や「想い」の代弁者がいれば、子ども達の心はより一層成長していく感じています。



学び・自立支援を通して
子どもの未来を創ります
喜田 紘平 東林館高等学校 理事長
実践心理学カウンセラー